



平成20年3月18日

## 平成19年度英語教育優良教育委員会・学校文部科学大臣表彰について

文部科学省では、英語教育に尽力し功績のあった教育委員会及び学校を文部科学大臣より表彰しますので、お知らせします。

なお、本表彰は、3月22日（土）開催予定である「『英語が使える日本人』の育成のためのフォーラム」において行います。

### 1. 趣旨

この表彰は、英語教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められる教育委員会、中学校及び高等学校の功績をたたえ、英語教育の改善を促進することが目的です。

### 2. 表彰対象の決定

都道府県教育委員会または指定都市教育委員会が、表彰の対象となる教育委員会、中学校及び高等学校を推薦し、推薦されたものの中から、それぞれの取組内容を勘案して文部科学大臣が決定しました。

対象となった教育委員会、中学校及び高等学校は、別紙のとおりです。

### 3. 表彰期日及び表彰会場

平成20年3月22日（土） 9時10分～

東京ビッグサイト 会議棟（東京都江東区有明3-21-1）

電話：03-5530-1111 <http://www.bigsight.jp/>

#### 4. 表彰時取材申し込み

表彰の様子の取材は、平成20年2月18日付けプレス発表資料「英語が使える日本人」の育成のためのフォーラム2008 国際教育推進フォーラム2008の開催について」によりお申し込みください。

(お問い合わせ)

初等中等教育局国際教育課

国際教育課長：大森 摂生 (内線2438)

国際理解教育専門官：都築 智 (内線3478)

国際理解教育第一係長：平山 りか (内線3479)

代表：03-5253-4111

夜間：03-6734-3480

平成19年度英語教育優良教育委員会・学校 表彰団体一覧

教 育 委 員 会	深谷市教育委員会 (埼玉県)	深谷市英語教育モデルを策定し、郷土への誇りや国際感覚を育成する独自の英語教材作成や、小・中学校の教員の相互授業参観等を計画している。また、小・中学校の連携を促進するため、連携会議を実施するとともに、小・中学校の英語についての教員アンケートを実施している。
	広島県教育委員会 (広島県)	実践的な英語力を集中的に身につけさせるため、「中学生イングリッシュ・キャンプ」「高校生イングリッシュキャンプ」を実施している。また、県内の高校生と留学生に、互いの文化の違いを乗り越える共同の「インターナショナル・ユース・デイ」というイベントを企画・実施させている。
中 学 校	一関市立一関中学校 (岩手県)	英語に触れさせる啓発的体験として、「イングリッシュ・アベニュー」、「イングリッシュ・ストリート」の設置、「イングリッシュブック・ウィーク」を実施している。また、中高6年間の英語教育を視野に入れ、英語の学習方法を具体的に示した開発教材を活用している。
	京都府立園部高等学校 附属中学校 (京都府)	英語の授業においてペアワークやグループ活動を多く行っている。また、毎日昼休みの10分間を「イングリッシュ・タイム」としてALTと日常の英会話に取り組んでいる。全生徒が実用英語技能検定試験を受験している。
	福山市立福山中学校 (広島県)	国語や英語で習得した言語知識を基盤に、日本語や英語を使って「自分の考えを持ち、論理的に意見を述べるなど目的や場面などに応じて適切に表現する力」を育成している。また、授業は英語で行われ、生徒はJTEと基礎トレーニングを、ALTと実践的コミュニケーションを行っている。実用英語技能検定試験の全員受験を実施し、平成17・18年度に優良団体賞を受賞している。
	矢部村立矢部中学校 (福岡県八女郡)	「対話」を重視した授業を行うため、公開授業や授業検討会等の校内研修を実施している。また、ALTやゲストティーチャーを活用し、国際理解も踏まえて積極的にコミュニケーションを図る交流学习を実施している。

高 等 学 校	青森県立八戸商業 高等学校 (青森県)	商業科目に外国人とのコミュニケーションに重点をおいた英会話を導入している。また、実用的な英語能力を付けることを目標とした学校設定科目を設置している。
	千葉県立成田国際 高等学校 (千葉県)	学校設定科目に「ディベート」を設置し授業改善を推進している。また、英語セミナー（3日間の英語合宿）やディベート・トーナメントを実施しているほか、生徒が空港でボランティアガイドを行うなど、コミュニケーション能力の向上を図っている。
	福井県立福井商業 高等学校 (福井県)	オーストラリア、台湾、ドイツの高校と、生徒の派遣・受入れ及びメール交換などの交流事業を実施している。また、毎年ワールド・ユース・ミーティング（各国の高校生がコンピュータを用いて行う国際会議）に参加している。ICTを活用したオンライン学習モジュールを作成し家庭学習に導入している。
	奈良県立法隆寺国際 高等学校 (奈良県)	全て英語で行う授業を複数設置している。また、1クラスを2つに分けて習熟度別指導を実施している。海外からの学校訪問を積極的に受入れ、生徒の英語でのコミュニケーションを推進している。
	広島県立加計高等学校 芸北分校 (広島県)	定期考査にリスニングテストを導入するとともに外部試験の受験を奨励している。また、連携型中高一貫教育校となっている芸北中学校から兼務教員を招き、相互乗り入れ授業を実施している。中高の教員による指導方法等についての検討会、ティーム・ティーチングなどを実施している。
	熊本県立熊本北 高等学校 (熊本県)	授業の前に和訳を生徒に渡すことにより、教員が授業で用いる英語の量を増やすとともに生徒が英語を多用する授業を実施している。また、教員の指導力向上のため、相互授業参観等の校内研修を実施している。毎年夏季休業中に英語のみの「英語科合宿」を行い、ALTも参加して指導する。生徒が外国人観光客へのボランティアガイドを行っている。